

総務委員会

委員会付託案件の審査 (6月15日開催)

【付託案件】

- 平成21年度かすみがうら市一般会計補正予算 (第1号)

【審査内容】

Q：総務費人件費で、臨時職員を雇用する理由は何か。市職員で対応できないのか。

A：パスポートの申請受付、交付事務窓口開設に伴う臨時職員であり、半年間の予定です。経験等が必要で、研修を行い専門的な知識のある職員を配置するというものです。

Q：旧佐賀保育所の用途変更とは。

A：郷土資料館と隣接しているため、郷土資料館の機能を有する部分と、観光PRの機能の両方を有する施設として用途変更する計画です。

Q：保育所の跡地利用は決定しているのか。

A：本年3月31日に廃止した保育所は5箇所、旧佐賀保育所について利用は決まりました。第二、第三保育所については地区の公民館として使いたいという意向がありましたが、まだ話し合いを進めており、最終的には決定していません。目的がはっきり決まれば予算の対応もしていきたいと思います。
志土庫保育所、下大津保育所については、まだ利用が決まっていない状況です。

【所管事務調査】

- 期日前投票所の増設について
- 霞ヶ浦庁舎建設工事の進捗状況と太陽光発電施設について
- 霞ヶ浦の境界の確定に伴う面積の公表について

【調査内容】

Q：霞ヶ浦庁舎太陽光発電設備について。

A：温室効果ガス排出削減の一環として導入計画し、環境省の補助事業を受けて行いますが、補助対象の太陽光パネルを当初の屋根一体型ではなく、屋根に乗せるタイプに変更いたしました。

屋根一体型と比較しますと、費用面で約400万円の削減につながると試算されております。

Q：霞ヶ浦庁舎完成予定は。

A：工期については平成22年4月30日までの契約ですが、工程等を協議し、できるだけ3月末には完成できるようにということで進めていきたいと考えております。

Q：霞ヶ浦の境界の確定について。

A：平成21年3月10日付総務省の告示により、市町村の境界が確定しました。本市の面積が、これまでの118.77平方キロメートルから156.61平方キロメートルになりました。面積の増に伴い、地方交付税の増が見込まれます。



▲新たに期日前投票所が設置される中央出張所



◀霞ヶ浦庁舎建設現場

文教厚生委員会

委員会付託案件の審査 (6月15日開催)

【付託案件】

- かすみがうら市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市福祉館設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市あじさい館設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市公民館設置及び管理等に関する条例の全部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市立図書館条例の全部を改正する条例の制定について
- 平成21年度かすみがうら市一般会計補正予算 (第1号)
- 介護保険に関する請願書

【審査内容】

Q：あじさい館等の指定管理者制度の導入について。

A：福祉館、公民館、図書館の複合施設で個々の条例がありますが、1つの指定管理者であじさい館全体の管理を考えています。今後、広報誌やインターネット等を通じて、市民に理解が得られるよう周知をしたいと思います。

Q：小学校理科支援員について。

A：1日6時間で95日。今回予定しているのは、下大津小学校120時間、美並小学校110時間、下稲吉東小学校340時間です。実験等の支援または準備片付けなど、時間がかかる部分についての先生方の支援、観察実験等の計画立案の支援が主な内容です。

Q：北中学校耐震診断調査業務委託追加予算について。

A：新耐震基準が昭和56年6月に施行され、第1期工事については昭和56年10月竣工で耐震診断が必要と判断し、当初予算に計上して発注しました。第2期工事、第3期工事については、新耐震基準で設計されているとみていたのですが、建築確認書が昭和56年1月であり、構造計算書もチェックし、今回耐震診断する内容です。

Q：郷土資料館改修事業の展示映像作成とはどのようなものか。

A：資料館内の展示及び風景を映像として映しているものが展示映像です。現在は霞ヶ浦地区の映像を流していますが、千代田地区についても文化遺産等の映像を流すことで考えています。

閉会中に行われた委員会 (8月5日開催)

【調査項目】

- 教育施設、文化施設、体育施設及び福祉・保健施設に関する事項 ・ 学校施設の耐震補強について

視察研修 (牛久市立奥野小学校)

《平成21年5月18日(月) 午後1時30分～3時》

【研修内容】

- 学校耐震補強工事について
公立小中学校耐震化の先進地である牛久市、市立奥野小学校耐震補強工事の視察研修を実施し、委員6名が参加しました。
牛久市議会沼田議長より市議会の状況及び市の概要等説明の後、公立学校耐震化について、学校総務課並びに管財課の担当者より整備事業についての説明をいただきました。



▲牛久市立奥野小学校の視察研修

産業建設委員会

委員会付託案件の審査 (6月15日開催)

【付託案件】

- かすみがうら市雪入ふれあいの里公園の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市森林公園の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について
- 平成21年度かすみがうら市一般会計補正予算 (第1号)
- 「気候保護法(仮称)」の制定を求める請願書
- 農地法の「改正」に反対する請願
- 上佐谷小学校存続並びに市街化調整区域内における都市計画の見直し請願について

【審査内容】

Q：今回の条例改正については、指定管理者制度へ移行するためであるが、サービス面、経費効果は出ると考えているのか。

A：雪入ふれあいの里公園、森林公園について、平成22年4月1日から指定管理者制度を導入するにあたり条例改正するものです。

指定管理者には施設の立地条件、施設を活かして、市ではできなかった事業を展開し、人を集める等採算が合うよう運営ができればと考えています。

Q：三ツ石森林公園について、危険箇所もあり維持管理が難しいのではないかと。

A：管理については、協定書、市との協議の中で指導をしていきます。

Q：農業振興事業トレーニングファームの内容は。

A：担い手育成を目的に、トレーニングファームということで、50アールくらいを予定しています。霞ヶ浦地区、千代田地区に土地を借り、新規に就農したい、将来的に農業をする方に研修を行い、指導者をつけて農業体験を実施します。一人あたり10アール程度、5名程度を募集したいと考えています。

Q：ブランド化推進会議補助金について。

A：市の特産品のブランド化について、「湖山の宝」発掘プロジェクトの一環として新たな特産品の開発、おやつレシピ集作成、ロゴデザイン開発など、関係団体等と連携して取り組みます。

Q：三ツ石森林公園遊歩道整備委託について

A：緊急雇用創出事業補助金を利用して、中高年者の雇用・就業機会を創出する事業ということで、業者委託ではなく、シルバー人材センターへ委託し人件費の中で対応するものです。

- 請願書3件 継続審査

閉会中に行われた委員会

(5月25日開催)

【調査項目】

- 下水道施設の維持管理について
 - ・ 下水道使用料に関する件について
- 環境衛生及び公害に関する事項
 - ・ 大平地区残土の件について



▲三ツ石森林公園